

(学) 長橋学園 杉田幼稚園の「令和5年度 自己評価及び学校関係者評価」結果

令和6年3月8日

(学)長橋学園 杉田幼稚園

1、幼稚園(杉田幼稚園)の教育目標

教育基本法及び学校教育法を基本として、幼稚園教育(幼児教育)を推進し、豊かな心を持つてる人を育成することを目的とし、次の教育目標を定める。

教育目標：「明るく 元気に がんばる子」

その目標に～ ・物を大切にす子 ・思いやりのある子 ・お友だちと沢山遊ぶ子 ・お話をよく聞
ことができる子・思ったことがはっきり言える子 ・考える力のある子 を目指して指導する。

2、令和5年度の事業計画及び重点目標

事業計画～「緑いっぱい自然の中で、元気な子が育つ学園」として教育活動の推進

- ① 子ども子育て新制度(施設型給付園)への移行に伴い、県の進める「有徳の人」づくりを推進すべく、園児一人一人の生き生きとした教育活動を実践するとともに、危機管理の徹底と安全な環境づくりに努める。
- ② 園児達の発達段階に応じた指導を徹底し、“生きる力”の基礎を培う「モノづくり体験」を実践して行く。
- ③ 思いの伝え合いの場づくりに意を用い、規範意識の芽生えを育む活動ができる教育課程を工夫する。
- ④ 幼小連携(架け橋プログラム)が円滑にできるよう、近隣小学校・園及び保護者との連携を推進する。

以上の事項を重点として、教育内容のさらなる充実に努める。

3、評価項目の達成及び取組状況

A:十分達成されている B:達成されている C:取組まれているが、成果が十分でない D:取組みが不十分である

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	結果	内容・理由等	結果	内容・理由等
1、保育内容 (1)保育の 計画性	A	園の教育理念や方針を基に、園全体・各学年・クラスの保育計画(年間・月間・週案)により、園児一人一人の成長を確認し、保育を進めた。 また、少子化等の時代の変化を的確に把握し、常に危機意識を以って、次への新たなステップに進めるようにしている。 コロナ感染が終息し、新たな環境構成や行事にも工夫を施して、保育計画を順調に進めることができた。	A	コロナ禍の中で工夫した教育活動を新たな実践の場面で活かしながら、日・週案を立て、その反省記録を、園長・副園長等に回付し、評価・助言等を行っている旨を評価委員会で改めて伺い、園全員が一つになって教育活動や学園行事に当たっている状況に敬意を表する。 また、複数教員の産休・育休もあったが、非常勤教員等が的確に各クラスの指導にも携わり、各学年とも、子どもたちの発達に合わせた環境構成もしっかりでき、縦割り教育活動等、新たな園運営が円滑に進められたことが、各人の自己評価から伺われた。
(2)保育の あり方・幼 児への対応	B	在園児達の個々の特質などを各教員で共有し合い、保護者からも随時、的確な情報を頂き、通園バス運行や遊具の点検など徹底し、日々の教育活動や生活における安心な場づくりを心掛けた。		園児達のさらなる成長に向け、保護者の信頼を受けて、子供の目線に立って今後の教育活動や生活指導を進めら

		さらに、預かり保育や要配慮児への取組等も強化するとともに、ものづくり学習では、年少から年長児の縦割り活動の導入等を実践できた。		れるよう、さらなる努力を期待する。 また、バス運行等への危機管理も十分であり、さらに要保護児の教育・生活指導も大変であるが、教員各位の弛まぬ努力をお願いしたい。
2、保育者としての資質・能力	A	<p>教員の年齢層も若くなっているが、教員同士がその立場、役割を理解し合い、コミュニケーションを大事にしている。各教員も研鑽を積み、専門性を高め、保育に自信を持って取組めるよう毎日の生活でも、アンテナを高くして対応している。</p> <p>資質向上に向けて、協会や県・市の幼児教育・福祉部門が行う特別・専門研修に積極的に参加するとともに、園内研修機会も増やし、先輩は、後輩の意見等も組み入れた保育活動を進めている。各地の地震活動を参考に、安全教育も徹底したい。</p>	A	<p>自己評価全般を見て、教員それぞれが研鑽を重ね、若手教員へのアドバイスなども適時・適切に行い、全員が相互に補い合いながら、自己の資質向上に努める姿が伺え、事故防止や少子化対策などの園内研修等は高く評価したい。</p> <p>さらに、国・県・市の施策も教員の資質向上や待遇改善を図っており、日々の研鑽、教育課程の充実を目指し、コロナ禍が終息し、5年度の富士宮市内幼稚園の公開保育や他園との幼幼交流・共同研究を通じ、また、幼小連携などを進め、教員全体のさらなる資質向上を目指して欲しい。</p>
3、保護者への対応	A	<p>教育目標に掲げた保護者や地域との共感し合う教育活動が、本年度は、コロナ感染が収まり、夏のフェスタ、秋の運動会や生活発表会は順調に実施され、保護者の協力も十分得られ、年長・年中児の親子協働(稲苗植え・椎茸駒打)作業も良かった。</p> <p>クラス別の保護者面談も保護者と相互に話ができ、情報交換のお便り帳では、写真や絵柄を使う工夫等を行い、共通理解ができた。バス通園児の保護者との情報交換機会も増やす工夫もし、親に不安を与えないように心掛けて行く。</p> <p>なお、学年の保護者からの要望等は全園での共通の事象として対応していくよう努め成果を挙げている。</p>	A	<p>本園恒例のバケツ稲づくり、椎茸の駒打ち体験、運動会、生活発表会、交通安全教室など、親子協働活動が円滑に進められ、成果が上がった。</p> <p>また、保護者からの子育てに関する相談(要配慮児)等も多くなっており、子育て支援カウンセラーの来園等を図り、きめ細かな対応ができた点は評価する。</p> <p>特に、保護者とのお便り帳の交換では、写真や絵柄を挿入する等工夫をして、家庭との共通理解を深められた。</p> <p>なお、今後は、子育て支援としての「たまごちゃん教室」をより充実するとともに、子育て不安解消への支援など、幅広い活動を行って、本園を目指す子弟の数を増やしていくことを期待する。</p>
4、地域の自然や社	C	コロナ感染症が収まり、地域との連携もできるようになり、「運動会」や「す	B	本年度の事業報告を伺い、コロナ感染がようやく収まり、ここ3年余り、縮小等

<p>会とのかわり</p>	<p>ぎの子フェスタ」などに、以前のように区民の参加を啓発し、園・家庭・地域が一体となった教育活動が進められるよう努めて行きたい。</p> <p>来年度は既に「地域にある神社の祭典」などへの園児出演も要請されており、年中児の「地区敬老会」への参加の復活、年長児の「茶道体験」に対する地域の方々の指導、5年度末から始まった地域ボランティアの「読み聞かせ教室」など、直接的な連携・交流を増やすよう努めて行く体制づくりをやって行く。</p> <p>また、教員自身が地域の自然や歴史、寺社等の知識を深め、それを教育活動の素材として取り入れていくことが、地域との関りも深まり、交流に繋がりが、園児の地域意識を助長する上からも大切と思う。</p>	<p>を余儀なくされた園と家庭・地域が一体となる学園行事や地域活動が再開され、幼稚園への期待が高まっている。</p> <p>特に、年長児の鼓隊演奏が地域との触れ合いに役立ち、園児の人間形成の基礎となるので、11月の「市消防フェスティバル」が開催され、鼓隊の出演が叶って、同時に開催された「防火ポスター入賞者表彰」に銀賞を受けた年長児が参加し、地域との連携ができた。</p> <p>また、カレーづくり・餅つきを始め、さつまいもやバケツ稲を育てる体験学習にも地域の協力と保護者の参加など、親子協働の活動が増えることを期待する。</p> <p>さらに、教員自身が地域の歴史や寺社の由来などの探求を進め、専門家の招聘なども視野に入れ、園児の指導に役立てて欲しい。近隣小学校との園児・児童交流も評価委員からの強い要望がある。</p>
	<p>B</p> <p>年間を通じ、園全体の教職員間で、コミュニケーションを図り、園内研修を施行するとともに、市私立幼稚園協会の「研究研究」の内容充実に努めたい。コロナ禍が収まった状況により、今後に向けて、感染症等が長引いた場合、園児一人一人の「心のケア」に関する研修も課題である。</p> <p>また、他園の良い所を吸収できる市内10園による「公開保育」の時機等の検討もされているが、近隣幼稚園との相互の園児交流や共同研究さらに小学校との連携を積極的に挑戦し、さらにオンライン研修へも参画して行きたい。なお、研修参加の際、研修テーマ等を見て、事前の準備を心掛けたい。</p>	<p>B</p> <p>本年度の「公開保育」は、市内3園に教員が分散して参観され、教員相互の交流を通じ、教育者としての資質向上に一層努められ、大きな成果だった。</p> <p>一昨年9月に発生した県内の通園バス事故などに関して、今年度も交通安全教室の際、園児のクラクション操作体験を実践し、さらに、日常勤務の中での安全確認の注意点を教職員間で話合うなど、常に危機管理を徹底していることを伺い、その姿勢を評価する。</p> <p>本年度4月より「こども家庭庁」も発足して、小学校との幼小連携の機会を創ることが必須となっているので、最大の課題として取り組んでいただきたい。</p> <p>また、他の幼稚園と共同研究・研修など幼幼連携の推進も併せて進めて頂きたい。</p>

			更に、自己評価にも表れているが、コロナ禍は終息しているが、コロナ感染にあっては園児たちの心への影響をすることも予想されるのでアフターケアの研修にも挑戦されることを期待する。
--	--	--	--

4、重点目標等に対する総合的な評価結果

結果	内容・理由等
A	<p>新型コロナウイルス感染が一段落し、本園の運営体制も、私学助成園から子ども子育て新制度である「特定教育・保育施設」として確立され、年間を通じた園全体の保育計画及び月間・週間指導計画の実施に余裕が出てきて、教職員各位においても、自己の教育活動の中で、園児の生活をしっかりと進めて頂き、教員相互に意見交換など行い、工夫やアイデアを出し合っ、各年齢ごとの園児たちも、それぞれの課程を通じ、楽しく学び、遊ぶことができたことに感謝している。</p> <p>特に、園行事の「運動会」や「生活発表会」は、保護者の協力・支援もあり、「カレーづくり体験」は、地域のLPガス協会の方々、「餅つき」は、農業団体の壮青年部の支援があり、PTA 会長自らが杵の使い方を園児に伝授し、「地域と共に生きる教育の実践」を進められたことを評価するとともに、これからも、預かり保育や要配慮児への取り組み等、本園の教員全体が力量を発揮され、幅広い教育活動と、それをバックアップする園全体の運営体制もより強固にして行かれることを期待する。</p> <p>また、地元の農業(さつま芋・落花生)や製紙業(古紙・リサイクル)などの教育資源を活かした学習や「富士山の日」・「おやこんぼの日」等を活用する生活体験など、園児の豊かな心を育む上でも、十分な効果があったと思う。さらに、教員自らが行動し、視野を広め、地域(自然、歴史、地形、寺社、祭り等の教育資源)を学ぶ機会を増やし、その素材や地域の伝統等を園児たちの学びに活用されるよう来年度へつなげて頂きたい。</p> <p>また、園と家庭(保護者)・地域が連絡を密にし、保護者参観日の内容を充実するなど、よりよい未来の子ども達を育てる環境づくりに努めて欲しい。なお、ホームページは、随時内容の見直しを行い、幼稚園を多くの方に理解頂けるよう、一層充実されることを改めてお願いする。</p>

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1、教育計画に基づく地域、保護者と共感し合う教育活動の推進	・子ども子育て新制度「施設型給付園」に移行し、コロナウイルス感染も終息し、本園の教育活動も落ち着いたところで、これまでの教育諸計画を常に振り返り、見つめ直しながら、来年度は、さらに内容の濃い年間計画を立て、日々の保育や学園の諸活動を進める。
2、教職員の資質向上を目指した研修の充実	・本園は創立45年が経過し、運営面でも大きな節目であり、コロナ感染等の影響もあり、ここ3年間でできなかった杉田幼稚園から地域への情報発信を増やし、特に、学園の主要行事への地域住民の参加を回覧板やHPによって啓発し、保護者や地域等に杉田幼稚園をアピールするとともに、教員自身も地域の自然、歴史、産業、

<p>3、学園の防災・危機管理等の徹底</p>	<p>寺社の生い立ち等を学び、教職員の視野を広めて行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領の内容を全教職員が会得し、要配慮児への対応及び地域や保護者との共感し合える新たな課題等をテーマとした教職員の研究体制を充実するとともに、教職員の資質向上に向けた研究・研修体制を強化する。 ・地域の小学校や幼稚園との連携を図り、教職員間の交流や共同研究等を行うとともに、教職員のチームワークの良さを、園活動の中で園児達に示し、伝授していくことで、園児たちが有意義な園生活を送れるように努める。 ・県内の通園バス事故に対する教訓等を園全体で徹底し、「事故を防ぐための危機管理マニュアル」や「コロナ感染防止ガイドライン」を始め、「地震等防災対策マニュアル」を随時に見直すとともに、保護者とその家庭との連携を深め、防災や衛生管理機関等との連絡体制の強化を図り、実践的な避難訓練、情報提供等を実施するとともに、園内遊具の点検・改善整備も行い、危機管理教育の推進を図り、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症対応など一層充実する。
-------------------------	---

学校関係評価者

(参加者)

- ・保護者(杉田幼稚園PTA会長)
- ・地域住民(地区在住)
- ・学識経験者(前天間地区生涯学習推進会副会長)

<公表予定日>

- 1、杉田幼稚園のホームページ
- 2、杉田幼稚園の園内掲示板

令和6年5月9日より

令和6年5月10日～令和6年5月24日

令和5年度 学校法人長橋学園 杉田幼稚園 財務情報公開

1.財務状況

【資金収支計算書】

科目	決算額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	3,155,280
手数料収入	50,000
寄付金収入	-
補助金収入	67,598,595
資産売却収入	-
付随事業・収益事業収入	6,670,288
受取利息配当金	10,909
雑収入	510,959
その他の収入	12,713,327
資金収入調整勘定	△4,463,418
前年度繰越支払資金	2,279,809
収入の部 合計	88,525,749
支出の部	
人件費支出	51,971,242
経費支出	21,450,816
施設関係支出	-
設備関係支出	768,000
資産運用支出	594,200
その他の支出	2,707,811
資金支出調整勘定	△209,909
翌年度繰越支払資金	11,243,589
支出の部 合計	88,525,749

【貸借対照表】

科目	本年度額
資産の部	
固定資産	263,090,282
流動資産	15,753,520
資産の部 合計	278,843,802
負債の部	
固定負債	2,846,100
流動負債	993,745
負債の部 合計	3,839,845
基本金の部	
第1号 基本金	373,726,530
第4号 基本金	6,000,000
基本金の部 合計	379,726,530
翌年度繰越収支差額	△104,722,573
純資産の部 合計	275,003,957
負債及び純資産の部 合計	278,843,802

【事業活動収支計算書】

科目		決算額	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金収入	3,155,280
		手数料	50,000
		寄付金	0
		経常費等補助金	66,716,435
		付随事業収入	6,670,288
		雑収入	510,959
		教育活動収入計	77,102,962
	支出	人件費	52,565,342
		経費	28,766,421
		徴収不能	0
	教育活動支出計	81,331,763	
	教育活動収支差額	△ 4,228,801	
収入	受取利息・配当金	10,909	
	その他の教育活動外収入	0	
	借入金等利息	0	
	教育活動外収支差額	10,909	
	経常収支差額	△ 4,217,892	
教育活動外収支	収入	資産売却差額	0
		その他の特別収入	882,160
		特別収入計	882,160
	支出	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
特別支出計		0	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 3,335,732	
	基本金組入学合計	△ 768,000	
	当年度収支差額	△ 4,103,732	
	前年度繰越収支差額	△ 100,618,841	
	翌年度繰越収支差額	△ 104,722,573	
	事業活動収入計	77,996,031	
	事業活動支出計	81,331,763	

【財産目録】

科目	金額
基本財産計	224,837,942
運用財産計	54,005,860
資産の部 合計	278,843,802
固定負債計	2,846,100
流動負債計	993,745
負債の部 合計	3,839,845
差引純資産	275,003,957
正味財産の部 合計	278,843,302

令和5年度 事業報告 (学)長橋学園 杉田幼稚園

1、学校法人の実績

昭和54年3月15日に地域の要請により設立した本園(私立幼稚園)は、45年の長きに亘って、「豊かな人間性の基礎を育み、健康で明るい素直な子どもの育成」と「地域に根ざした幼児教育施設の役割」を果たしている。近年の少子化という大きな流れの中で、ここ3年ほどはコロナウィルス感染の影響もあり、教育活動や学園行事の中止・縮小等も余儀なくされたが、本年度は、コロナ禍が終息し、地域とともに発展してきた学校法人として、「子ども・子育て新制度」に基づく「特定教育施設」に移行し、富士宮市(国・県)からの助成を受ける幼稚園として、新たな道のりを進み始めることとなった。

2、就園児の実績

区 分	年長(はと)	年中(ひばり)	年少(ひよこ)	満3歳児(もも)	合 計
学級数(級)	2	1	1	1	5(園則学級数:9級)
園児数(人)	25(卒)	22	18	10	75(利用定員:75人)

<令和6年3月現在>

3、研修の実績

県私立幼稚園振興協会等の外部研修がコロナ禍が収まり、会場型研修(一部は、リモート研修やハイブリット研修)が復活し、教職員は、予定した研修を受講し、幼児教育の充実を担う教職員の資質向上を果たすことができた。加えて、富士宮市私立幼稚園協会の公開講座、実技研修も、コロナやインフルエンザ感染等の予防対策の下で、当初計画した研修メニューを、ほぼ完遂することができた。

こうした中、コロナ感染等の影響で、外部研修に代わり園内研修を重視し、毎月末の教職員会議の後を利用して、「園児の諸行動への対応や通園バス事故等の危機管理の徹底」、「地域の子育て対策となる幼児教育センター体制の在り方」、「教育活動の教材や活用素材の研究」など、教員相互で工夫しながら、多彩な研修を実践した。

4、教育活動(行事)の状況

新年度を迎え、5月頃より新型コロナ感染が終息に向かい、本園が掲げる「明るく元気に頑張る子」を目標に、① 園児一人一人が、生き生きと活動できる場づくりを実施した。② 家庭、地域社会及び幼稚園が一体となり連携を深め・相互に理解し、共感し合える園づくりとしてバケツ稲作体験教室(苗植え、稲刈り、脱穀、餅つきなど、環境構成を工夫しながら実施した。また、この一環として「おやこんぼ事業」(振興協会主催)を推進した。③ すぎのこフェスタ、運動会、生活発表会など大規模な学園行事は、時間の短縮や使用する会場の衛生管理の徹底等により、園児の活動をほぼ計画通り実践することができた。④ 小学校への接続が円滑にできるよう園児たち(年長児)の「交通安全教室」を2回に亘って開催し、交通指導員・うさぎさんクラブ員(保護者)の指導で、横断歩道での注意などを学び、園児全員で、通園バスのクラクション発信体験を経験した。満3歳児保育も最大10名が就園した。

＜主要学園行事の実績＞

年 月	行 事	年 月	行 事
令 5 . 4	入園式、始業式、内科検診	令 5.10	芋ほり(全員)及び稲刈り・脱穀体験(はと組)、交通安全教室(バス警笛)
// 5	歯科検診、菜の花迷路体験(はと・ひばり)、保護者参観(学年別)、バケツ稲苗植(はと組:保護者連携)	// 11	・防災訓練(避難・消火器・引渡し)、消防フェスティバル演奏、生活発表会
// 6	防災訓練、さつま蔓挿し・落花生蒔(はと組)、ジャガイモ堀(もも組)、カレーづくり火育・食育体験(全員)、保護者(土曜)参観	// 12	・餅つき体験(鏡餅作成)、クリスマス・サンタ来園(プレゼント)、根南小との教員交流、お店屋さんごっこ、終業式
// 7	すぎのこフェスタ、終業式	令 6 . 1	・始業式、繭玉作り(飾り)・正月遊び(凧作り・凧揚げ・達磨落とし)、子育てフェア(代替:親子コンサート)
// 8	夏期保育(流しソーメン:全員、スイカ割)	// 2	交通安全教室、豆まき(園児・教職員)、茶道体験(はと組)、保育参観(学年毎)、お別れ遠足(年長児:楽座)、縄跳び
// 9	公開保育(参加園)、始業式、運動会(午前完了)、防災訓練、落花生堀(年長児)・挽ぎり(全員)	// 3	お別れ遠足(全員:西公園)、お別れ会、卒園式、終業式

5、施設・設備整備の状況

園児の安心・安全確保のため、施設・設備の点検を実施するとともに、遊具等点検(年9回)を行った。平成30年度末に設置した「防犯カメラ装置」によって園舎内外の保安に役立っている。

本年度の設備整備は、各クラスへ「可動絵本棚の設置・絵本の購入等」:1,233千円(市施設・設備補助金700千円)を実施した。

6、管理・運営関係の実績

(1) 預かり保育<保育時間外に加え、夏・冬休み預かり保育を実施> (2) 通園バスの運行・安全対策 (3) 園庭開放事業(子育て支援「たまごちゃん教室」事業の実施) (4) エコ教育の推進と古紙回収の実施 (5) 教育実習生の受入れ (6) 市内PTA活動(6/3 富士山こどもの国-雨天中止により1/27 親子音楽コンサート、諸会議) (7) 「特定教育施設」への移行に係る新規事務遂行 (8) 新教育要領に基づく教育課程充実 (9) 「杉田幼稚園」ホームページの改良 (10) 私立幼稚園教育研究東海北陸大会への参加<長野市> (11) 学校評価の徹底 (12) 秋の動物園遠足、お別れ遠足、入園式、卒園式の実施 (13) 絵画コンクール優秀・入選多数(富士山こどもの国・富士サファリ、消防大会、富士山コンクール等)

以上